

実習科目4-5

臨床繁殖学実習モデル・コア・カリキュラム

全体目標

基本的な診療手順および手技を学んだ学生が繁殖分野において必要な診断技術を身につけるとともに、人工授精および胚移植を含む繁殖管理技術と繁殖障害の治療および予防にかかわる手技を修得する。

(1) 雌の繁殖機能検査

一般目標：

発情周期の時期および生殖器の異常を診断する技能を修得する。

到達目標：

- 1) 代表的な動物について外陰部および腔検査を実施できる。
- 2) 牛において直腸検査を実施し、子宮および卵巣所見を採取できる。
- 3) 生殖器所見の採取に必要な基本的な画像診断ができる。
- 4) 生殖機能に関わる特殊検査の手技および所見の意義を説明できる。

(2) 発情診断

一般目標：

動物の行動、外部徴候および臨床検査所見から発情を診断する技能を修得する。

到達目標：

- 1) 代表的な動物について行動を観察し、特徴的な発情行動を指摘できる。
- 2) 代表的な動物について生殖器および臨床検査を実施して発情診断ができる。
- 3) 発情診断に用いる補助器具を正しく使用できる。

(3) 雄の繁殖機能検査

一般目標：

精液検査を実施し、雄の繁殖機能および精液性状を評価する技能を修得する。

到達目標：

- 1) 代表的な動物において精液を採取できる。
- 2) 精液検査ができる。

(4) 人工授精

一般目標：

人工授精用精液の製造および保存方法を理解し、精液を雌生殖器に注入する技能を修得する。

到達目標：

- 1) 牛において凍結精液を用いて人工授精を実施できる。
- 2) 代表的な動物について精液を採取し、人工授精用に処理できる。

(5) 発情の同期化および胚移植

一般目標：

牛において定時人工授精および胚移植を実施するために必要な動物の発情・排卵時期の調節、過剰排卵処置および胚の回収と移植に関する基本的な技能を修得する。

到達目標：

- 1) 定時人工授精、胚回収および胚移植の実施に必要な発情および排卵時期の人為的調節ができる。

- 2) 過剰排卵処置を実施できる。
- 3) 胚を回収し、品質を判定できる。
- 4) 胚の凍結に必要な器具の準備および胚の操作ができる。
- 5) 新鮮胚および凍結胚の移植ができる。

(6) 妊娠診断

一般目標：

動物および妊娠の時期に応じた妊娠診断法を選択し、妊娠を診断する技能を修得する。

到達目標：

- 1) 代表的な動物において妊娠の時期に応じた妊娠診断法を選択できる。
- 2) 牛において直腸検査による妊娠診断が実施できる。
- 3) 代表的な動物において超音波検査による妊娠診断が実施できる。

(7) 雌牛の繁殖障害

一般目標：

病歴、繁殖歴、臨床検査および繁殖検査の所見を総合して繁殖障害の診断および治療法を選択ができる技能を修得する。

到達目標：

- 1) 繁殖障害の診断に必要な病歴および繁殖歴を聴取できる。
- 2) 繁殖障害につながる飼養管理に関わる問題点を指摘できる。
- 3) 主要な卵巣および子宮疾患の診断に必要な検査を選択できる。

(8) 雄の繁殖障害

一般目標：

病歴、交配歴、臨床検査および精液検査の所見を総合して造精機能の評価および交尾不能の原因を診断できる技能を修得する。

到達目標：

- 1) 繁殖障害の診断に必要な病歴および交配歴を聴取できる。

- 2) 雄性生殖器の視診および触診ができる。

(9) 妊娠および周産期の異常

一般目標：

流・死産、難産および胎盤停滞などへの対処法を修得する。

到達目標：

- 1) 流産の原因を明らかにするために必要な検査を選択できる。
- 2) 分娩の異常を診断し、典型的な胎子失位を整復できる。
- 3) 帝王切開術の準備ができる。